

平成 26 年度第 1 回政策会議概要

- 1 開催日時：平成 26 年 4 月 1 日（火）13:00～13:20
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題 1 平成 26 年度三重県経営方針について

●大橋企画課長（資料 1 に基づき説明）

2 月に提出した最終案から、若干の修正を行い、確定版とした。平成 26 年度の県政は、この経営方針に沿って着実に推進していただくようお願いする。
（質疑等なし）

議題 2 ワーク・ライフ・マネジメントについて

●森行財政改革推進課長（資料 2 に基づき説明）

3 月 24 日に開催した中央労使協働委員会で、資料 2-2 で示すワーク・ライフ・マネジメントの推進について合意されたので、積極的な推進をお願いしたい。

中央労使協働委員会において意見があったため、「平成 26 年度ワーク・ライフ・マネジメント推進方針」の「ライフ・マネジメントの支援の推進」へ、「介護従事を応援する風土づくりの推進」等について、中央労使協働委員会で示した案に加えている。

平成 26 年度の重点方針として、平成 25 年度の時間外勤務実績から 10%削減や平成 25 年度の年休取得時間実績以上といった具体的な目標を掲げている。特に時間外勤務時間の目標は一律 10%を指示するものではないが、目標は必達の意気込みで、各所属長は今年度の業務量を勘案して、所属毎に大きく減らせるように目標設定をしてもらい、マネジメントをお願いしたい。

☆鈴木知事

時間外勤務時間については、各所属長が、仕事の濃淡、スケジュールに関わらず、強制的に一律に 10%として職員へ指示することのないように配慮していただきたい。ただし、全庁に掲げる目標は必達目標なので、各部署の年間スケジュールや仕事の濃淡等を考えて、フレキシブルな対応をお願いしたい。

☆植田副知事

各部署局長のマネジメントシートに時間外勤務時間の目標を記載していただくことになるが、目標は、必達目標として、その成果については、管理職の評価に反映していきたいと考えているので、しっかり取り組んでいただきたい。

議題 3 春期「緑の募金」活動への協力依頼について

●橋爪農林水産部長（資料 3 に基づき説明）

「緑の募金」活動は毎年春と秋に、公益社団法人三重県緑化推進協会が実施している。募金は、里山の再生や学校・公園の緑化、森林ボランティア支援等に活用される。期間中の4月1日～5月31日の間に、職場募金と「緑の羽根」着用のご協力をお願いしたい。また、平成25年の募金実績は、県内26,933,705円、本庁567,148円で、昨年度より少し減少傾向にある。

(質疑等なし)

その他

☆石垣副知事

年度初めにあたり、ここ1週間の鈴木知事の言葉から印象に残ったものを3つ紹介すると、ひとつ目は、モンテスキュー曰く「いつでもできることは今日でもできる」を基本として欲しいという新採研修での発言、二つ目は、人事異動の時期はユルイ、三つ目は、4月1日からロケットスタートを、というもの。幹部職員へのあいさつに含まれていたものもあるが、しっかりと業務をお願いしたい。

☆鈴木知事

新年度であり、新たなポストに就いた方も見えるが、課題は理解いただいていると思うので、ロケットスタートをお願いしたい。県庁は人事異動でも、県民生活は待たなしであり、トップスピードで業務をお願いする。また、ワーク・ライフ・マネジメントについても、ワークとライフをそれぞれ高い水準で達成してもらいたい。